

好学尚武

試合結果

10月11日（土）対船橋啓明高校

第1試合 7対1 勝利

第2試合 途中まで

10月13日（月）対庄和高校

第1試合 3対1 勝利

第2試合 12対8 勝利

今季通算成績 22勝 21敗 1分

来春の地区大会（南部）

秋季県大会が終了しました。

埼玉県では秋の結果が翌春（翌夏）までつながる形がとられています。今回、県ベスト8に進出した高校、東2西0南3（浦和学院・浦和麗明・大宮東）北3が（県大会に出場できる枠はそのまま）翌春の地区大会免除という形になります。

よって、春の地区大会は、

●地区シード（9校）

埼玉栄・浦和実業（ベスト16）

市立浦和・県立浦和・与野・南稜・立教新座・慶應志木・川口工業（県1・2回戦で敗退）

●投票シード（この中から3校）

栄東・岩槻商業・大宮工業・開智・大宮武蔵野・大宮北・朝霞・大宮南・大宮・細田学園・西武台・川口市立

いつか・・・市高もベスト8以上に進出し、地区に貢献したいです。浦学、麗明・大宮東高校の皆さん、ありがとうございました。

「エース」

3日（金）は県大会の準々決勝、大宮公園球場で行われた上尾対熊谷商業、花咲徳栄対春日部共栄、この2試合の役員として過ごしました。

実はこの日の朝、甲子園に何度も出場されている監督と話をさせていただいた時、こんな話をされていたのです。埼玉県の場合、生き残るには投手の「制球力」が絶対が必要（県で1つや2つ勝つのは球が速いというだけでできたりするが、埼玉県のように大会が中1日で進む場合、どうしても球数を多くしない制球力が必要とのこと）。

そんなこともあり、この日は各校のエースに注目しながら試合を観させていただきました。

- 上尾・辻岡君
- 熊商・大久保君
- 徳栄・黒川君
- 共栄・前田君

4名とも（制球力が）抜群でした（今年県内の中心投手ですね）。埼玉県では（暑さがある時は）3回と7回に給水タイムが設けられますが（この日も設けられました）、3回終了までの試合時間がその日の先発投手の1つの指標になっていると私は思っています。

3回終了まで

試合開始から30分・・・早い 45分・・・普通
60分・・・遅い

この日の2試合はどちらも30分で3回までが終了していました（両投手ともポンポンストライクを取り、ほとんどランナーを出さずに3回まで終了＝両投手が試合を支配している・・・）

さらに・・・優勝した徳栄・黒川投手は現在高野連のルールになっている1週間500球以内というルールに迫る497球を投げ抜きました。勝ち上がるため（エースとして）それが可能な練習を日々していると岩井監督が話していました。

野球はやはり「投手」、彼らのような投手の出現を待ちたいと思います。